



## ■ “甲子園の土”は普通の土じゃない？あの土についてくわしく解説！

今年も8月7日から全国高等学校野球選手権大会が開幕します。高校球児たちの17日間の熱い戦いが楽しみですね。その舞台となるのが、阪神タイガースの本拠地としても知られる“阪神甲子園球場”です。

高校野球では、球児たちが記念に土を持ち帰る様子をよく目にします。中には、広島県の広陵高校のように「土を持ち帰らないのが伝統」というチームもあるものの、試合の度に持って帰ってしまったら、なくなってしまうでは？…と少し心配になりますが、甲子園球場を整備する阪神園芸株式会社によって補充されるため、いつでも“ベストコンディション”で試合に臨めるのです。



甲子園の土は黒土と砂を混ぜて作っているのですが、春大会と夏大会で“ブレンド”が違うことでも知られています。雨の多い春は砂を多めに、太陽光が強い夏はボールを見やすいように黒土を多めに、という工夫がされているそうです。両大会に参加して土を持ち帰った選手たちは、その色の違いに気付けるはずです。

黒土の産地はいくつかあり、岡山県日本原、鹿児島県鹿屋、大分県大野郡三重町、鳥取県大山、そして我が三重県鈴鹿市などの土をブレンドしています。砂の産地は、京都府城陽です。

甲子園球場では、昼間に雨が降っていても、ナイターの時間は整っていたり、突然の雨で野球が休止になっても、スムーズに再開できたり、という様子がたびたび目撃されています。これは、”ラウンド”の砂や土にこだわり、屋根がない球場でも水はけの良い状態をキープしているからです。その裏には、先ほども触れた阪神園芸株式会社の企業努力があり、野球ファンの間では神整備とも呼ばれています。オフシーズンの冬場には土を25cm掘り起こして、その後、1ヶ月半かけてゆっくり固めるなど、最良のコンディションになるように配慮されています。土の水分量や日の天気、季節によって状態がかかるため、日の日のベストを目指して最良の状態に整える、職人技が光る仕事になっています。

球児でなくとも気になる甲子園の土なので、一度個人向けに販売された過去があるのですが、注文が殺到したため、すぐに終了していました。その後、甲子園球場開場100周年記念として無料配布された例もありますが、現在は残念ながら販売されていません。

## ■ Microsoft Edge で画像編集もできます

Microsoft Edge は“ラウザ”としての機能のみならず、画像編集ツールとしても使えることをご存じですか？この機能を使えば、“Web ページ”的な画像を“アップロード”してから画像編集ソフトで“加工する”という手順を踏まなくとも、“Web 上で直接編集する”ことができます。

Web 画像の上で“右クリックして表示されたメニューから「画像の編集」を選択すると、別ウインドウ（右図）が開きます。上部のツールバーで編集する内容を選んでください。主な機能は次の通りです。

- ① トドング…カケハズキ・回転・反転
- ② 調整…ライトの補正6項目・色の補正3項目
- ③ フィルター…15種類
- ④ マークアップ…ペンやマーカーによる線の描き込み



編集した画像は、保存もしくは“クリップボード”にコピーすることができます。画像の利用については著作権などにご注意ください。

★チラシ・フライヤー・会社案内・名刺など

デザイン制作・印刷 お任せ下さい!!

★ホームページ制作お任せ下さい!!

オリジナルデザインで更新しやすいホームページを！

今あるホームページの編集作業をお任せ!!

① パソコン本体・周辺機器のご購入やパソコントラブルご相談下さい！

② パソコン教室 無料体験実施中！

マデコムの Facebook への いいね！お待ちしております



株式会社 マデコム



〒510-8122 三重県三重郡川越町豊田659-1

TEL : 059-366-0888 FAX : 059-366-0877

E-Mail : office@madecom.co.jp

URL : <https://www.madecom.co.jp>

発行：2024年8月1日

編集・作成：早川尚孝